

**FY2020**

Consolidated Business Results



# 2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

東証一部：3937  
株式会社Ubicomホールディングス

# FY2020 1Q 決算概要

コロナ禍でも旺盛な需要が継続、前倒しにて高収益モデルを確立したことが奏功し、増収増益を確保、第1四半期における過去最高益を更新。  
新型コロナウイルス感染症の影響を加味した当社計画値において、利益目標計画を大きく上回り着地。

売上高

1,014百万円

(前年同四半期比107.1%)

経常利益

175百万円

(前年同四半期比104.0%)

営業利益

181百万円

(前年同四半期比107.5%)

四半期純利益

117百万円

(前年同四半期比104.8%)

# 2021年3月期 第1四半期 決算概況 (P/L)



**新型コロナウイルス感染症の影響および為替インパクト（約30百万円）を加味すると、経常利益は前期比2割を超える増益率を達成。高収益モデルの確立と開発・ソリューション需要継続により、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に留めた。**

(単位：百万円)	2020年3月期 第1四半期		2021年3月期 第1四半期		前年同 四半期比
	金額	売上比率	金額	売上比率	
売上高	947	100.0%	<b>1,014</b>	<b>100.0%</b>	107.1%
営業利益	168	17.8%	<b>181</b>	<b>17.9%</b>	107.5%
経常利益	169	17.8%	<b>175</b>	<b>17.3%</b>	104.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	111	11.8%	<b>117</b>	<b>11.6%</b>	104.8%

- 事業ポートフォリオのリスク耐性が功を奏し、事業と業績への影響を最小限に留め、「**レジリエンス経営**」を体現することができた。

## 社会ニーズに合致した事業推進

- **社会的課題の解決**に資する独自ソリューションの提供  
(医療経営改善、医療安全支援、IT人材不足解決等)
- **必然的DX需要**の取り込み  
(非対面化、オンライン化、システム統合/更改等)
- **オフショア活用**に更なる追い風  
(リモートワークの普及、コスト削減要請等)

- 国内及びフィリピン拠点において在宅勤務とローテーション出勤を導入した結果、**COVID-19以前より高い生産性を実現 (エンジニア稼働率の大幅向上)**。中国拠点は今期以降通常営業にて継続。米国においてはシリコンバレーにサテライトオフィスを開設、在米の協業先と連携してマーケティング及びリサーチ活動を推進。
- **インパクト：従業員の生命・安全を最優先に考え実施した各種施策** (フィリピンにおける、出社する従業員向け送迎車費用など) に係るコストや、**リモートでの開発体制に移行に伴う支出**。(約20百万円)

# 2021年3月期 第1四半期 決算概況 (セグメント別)



グローバル事業 (単位：百万円)	2020年3月期 第1四半期		2021年3月期 第1四半期		前年同 四半期比
	金額	売上比率	金額	売上比率	
売上高	628	100.0%	691	100.0%	110.0%
営業利益	134	21.4%	127	18.5%	95.1%

- ・ 主要ピラー顧客からの売上とソリューションの受注が拡大し、2021年3月期第1四半期における売上高は前年同期比110%を達成。コロナウイルス感染症の影響を最小限に留め、営業利益は前期比95.1%。
- ・ 当社従業員の生命・安全を最優先に考え実施した各種施策（フィリピンにおける、出社する従業員向け送迎車費用など）に係るコストや、リモートでの開発体制に移行（20百万円）に伴う支出を吸収。
- ・ 継続安定した準委任型・ラボ型モデルを推進し、顧客のピラー化（主要顧客化）によるパートナーシップの確立から、開発の標準化およびIoTを活用した分析・テスト自動化などのソリューション提供に向けた事業を推進。コスト・開発効率を重んじたソリューションから「高付加価値モデルの実現」フェーズへ。
- ・ エンタープライズ事業部において、日本における上流経験や積極的な人材投資効果が発現、金融・公共を中心とした新規および既存プロジェクトが拡大継続。第2四半期より更なる需要の取り込みに向けた営業活動を本格化。
- ・ その他、大手PCメーカーや大手商社、大手コンサルティングファーム、AI領域、外資系自動車メーカーなど、翌年度のピラー化・サブピラー化に向けた取り組みを継続強化。
- ・ コロナ禍におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）化をチャンスと捉え、更なる事業拡大に向け、利益バランスをみた上で第2四半期より戦略的投資を実行予定。

# 2021年3月期 第1四半期 決算概況 (セグメント別)



メディカル事業 (単位：百万円)	2020年3月期 第1四半期		2021年3月期 第1四半期		前年同 四半期比
	金額	売上比率	金額	売上比率	
売上高	318	100.0%	323	100.0%	101.4%
営業利益	136	43.0%	159	49.5%	116.8%

- 2021年3月期第1四半期における営業利益は、**前年同期比116.8%を達成**。新商品のMighty Checker EXが寄与し、Mightyシリーズのパッケージ販売に係る**ストックは順調に拡大**。
- 前倒しにて実現した**高収益サブスクモデルの確立**と、戦略的開発案件以外の収益率の低い案件の受託絞り込み等により、**セグメント利益が大幅に改善**、**営業利益率は49.5%を達成**。
- 本格ローンチした次世代レセプトチェックシステム「**Mighty Checker EX**」の引き合い好調、売上トップクラスの医療グループ内病院における導入含め、導入数は堅調に増加。
- 上記、大手医療グループ内における横展開に加え、新型コロナウイルス感染症対策としてWEBを活用した営業・サポートへの移行により、**更なるダイレクトアカウント（直接販売）獲得を推進**。
- 3月に発表した、医療クラウド新サービスSonaM(そなえむ)や、保険会社向け新ソリューションの開発、その他データ分析（健保組合・学会等）など、医療のデジタル化に関する新事業を積極的に立ち上げ。**Mightyシリーズに次ぐ将来の「新たなサブスク型の収益源」の確保**に向け、積極的な投資を実施。

# FY2020 1Q トピックスとビジョン

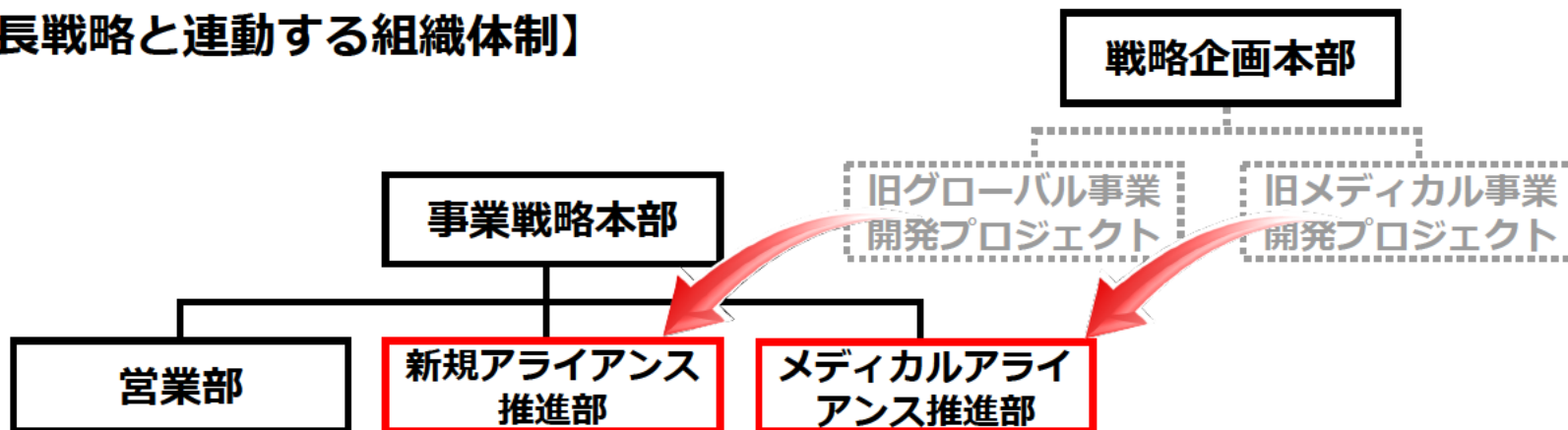


成長ビジョンの早期実現に向けて

## Ubicomグループの組織改革を実行

- 【施策】
1. 取締役のスリム化・執行役員の拡充  
→ 監督と執行の分離。事業推進力の強化及び迅速な意思決定の実現
  2. ワン・チーム体制の構築  
→ 事業や子会社の枠を超えた、一体となった成長戦略の実行

### 【成長戦略と連動する組織体制】



スピード感のある経営を実行し、

**「新規ビジネスの創出」と「グローバル目線の事業展開」を加速**

新ビジネスの創出に資する事業シナジーを見据えて

## フィリピンの決済プラットフォームへ出資

### PhilPaCS

「eガバメント」「eタックス」プラットフォームの開発と提供に強みを持つフィリピンのソーシャルテック企業

#### 【市場性 (フィリピン)】

- ・ 近年1億人を突破、**長期的な人口増加**による内需の拡大
- ・ 政府行政を含むDX (デジタルトランスフォーメーション) 進行
- ・ 感染症対策を追い風に対面から電子取引への移行が加速



#### 【収益性】

取引手数料を収益源とした**高収益プラットフォームビジネス**を展開

#### 【社会性】

取引の透明性確保による**SDGs**が掲げる汚職賄賂防止への寄与



## 3つ目の事業「次世代型ITサービスプラットフォーマー戦略」に資する 事業面におけるシナジーの創出をめざす

1. **当社グループのIT人材を活用したプラットフォーム開発支援と事業拡大**
2. **決済プラットフォーマーとしての協業を通じた新たな高収益マネタイズモデルの創出**
3. **現地企業や複合企業とのネットワークを活かした金融・公共・小売・eコマース市場への参入**
4. **シンガポール・インドネシア等のアジア地域におけるプラットフォームビジネスの横展開の可能性**

既存事業とは異なる  
軸足の新ビジネスに挑戦

事業部の垣根を越えて  
新規事業メンバー選出

既存事業

3つ目の事業

新規事業

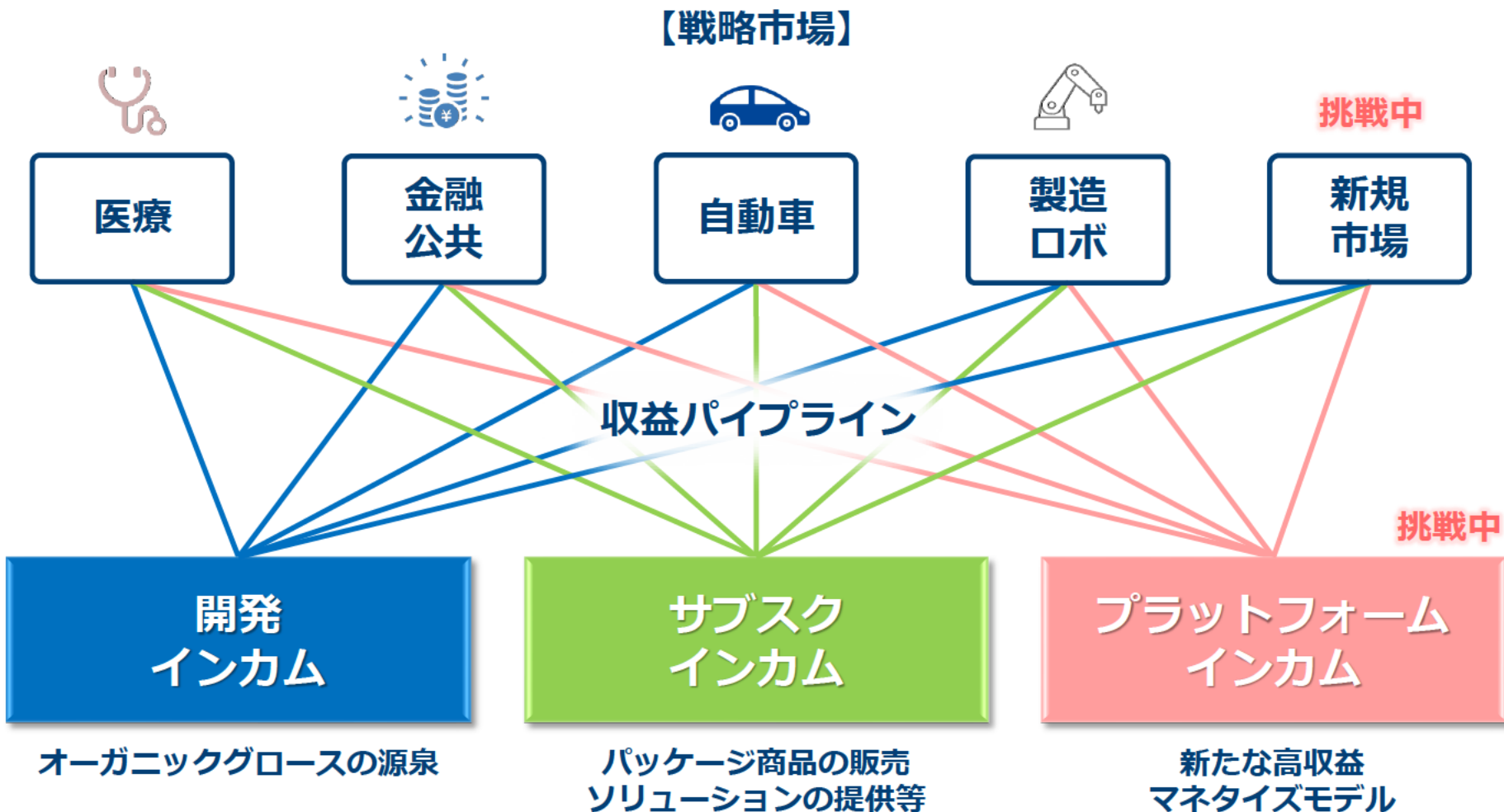
グローバル  
事業

メディカル  
事業

# グループ全体の成長ビジョン

既存事業によるオーガニックグロースに加え

## 新たな高収益パイプラインの創出



## ～ UbicomグループのESGへの取組み～

### 【医療課題への取組】

医療従事者の働き方改革  
医療安全・質の向上  
医療機関の経営支援  
ペーパーレス化推進



Healthcare  
Solutions

### 【人材教育】

アジア若手人材の育成  
キャリア開発  
活躍の場の提供



Education

### 【CSR活動を通じた チームビルディング】

孤児院・老人ホーム訪問  
海岸清掃、献血、寄付等



CSR &  
Team  
Building



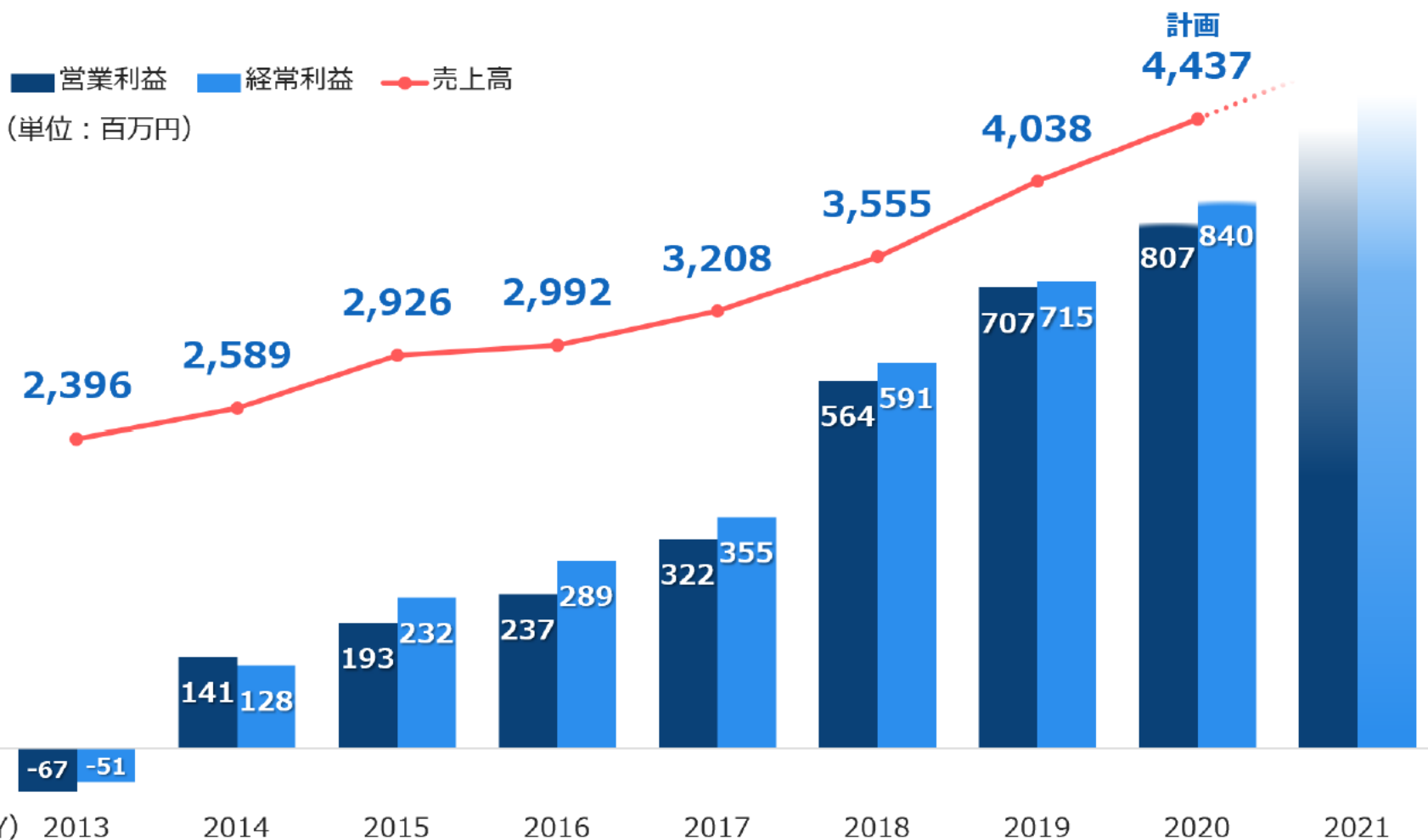
Diversity

### 【ダイバーシティ推進】

人材の多様性  
※フィリピンのマネジ  
メント職における女性  
の割合：約44%

新しい時代への社会の急速な変化を追い風に

## 2021年3月期計画を上振れるよう目指す





- 社名：株式会社Ubicomホールディングス（東証一部上場 証券コード3937）
- 戦略市場：医療、金融/公共、自動車、製造/ロボティクス
- 事業内容：

## グローバル事業

国内のIT人材不足解決とDX（デジタルトランスフォーメーション）を進めるべく、フィリピン等の開発拠点を活用した組込みソフトウェア/アプリケーション開発、テスト/品質保証サービス等の他、近年では3A技術（AI 人工知能 / Analytics 分析 / Automation 自動化）を搭載した独自の先進ソリューション開発を推進しています。

## メディカル事業

医療機関向け経営支援ソリューションのリーディングカンパニーとして、レセプト点検、医療安全支援、データ分析、クラウドサービス、開発支援、コンサルティング等の医療ITソリューションの提供を通じて、医療業界における業務効率化による働き方改革、医療機関の収益改善、医療の安全と質の向上を支援しています。

## Win-Win インベストメントモデル

リーディングカンパニーや成長企業との協業・提携・M&Aを推進し、事業成長の加速化を図ります。

## 新規事業開発

次世代を見据えた更なる高成長・高収益ビジネスを積み上げてまいります。

### ■業績：

単位：百万円	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益
2020年3月期（実績）	<b>4,038</b>	<b>707</b>	<b>715</b>	<b>533</b>
2021年3月期（計画） 増加率	<b>4,437</b> +9.9%	<b>807</b> +14.0%	<b>840</b> +17.4%	<b>605</b> +13.4%

# 将来見通しに関する注意事項



- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、当社による現時点における推定または見込みに基づいた将来展望についても言及しております。
- ◆ これら将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、為替変動といった国内および国際的な経済状況が含まれ、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ◆ 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ◆ 本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、将来展望に関するいかなる記載も更新し、修正を行う義務を負うものではありません。





**Ubicom**  
**Holdings, Inc.**

A red curved line graphic.